

関係会社紹介

東海コンクリート工業株式会社

1 はじめに

当社は昭和29年8月、中部電力(株)で使用する電柱等の施設をコンクリート化する目的で設立され、コンクリートポール、コンクリートパイルの製造販売を開始しました。昭和50年代からは、プレハブ洞道、マンホールをはじめとする地中化製品やPCカーテンウォールなど建築関連製品の製造販売を本格的に始め、「快適な都市空間創りをめざす」コンクリート製品の総合メーカーとして高い評価を得ています。

2 新技術への挑戦

中部電力(株)よりコンクリートに関連する研究業務を受託し、その成果を実用化するとともに、お客様のご要望を的確に把握しあらゆるニーズにお応えするため、全社一丸となって新技術への挑戦と新製品の開発に邁進しています。

【藻類・地衣類除去剤「コレトレール」】

受託業務の成果の1つとして、当社と中部電力(株)は、コンクリート建造物や石造物の黒ずみを除去する薬剤「コレトレール」を開発しました。この黒ずみの原因は、藻やコケなどの植物によるもので、景観を損なうばかりか植物や微生物の繁殖により表面劣化を引き起こしかねないものです。「コレトレール」は、除去効果を持続させる働きのある溶剤に地衣類から抽出した成分を溶かしたもので、基材に直接塗布し数ヶ月間で黒ずみを除去することができます。即効性はありませんが数年間にわたって効果が持続され、ブラシや漂白剤を使用しないことから基材を傷めることなく環境への悪影響もありません。建物壁面、墓石、文化財など幅広く利用されています。昨年より480gスプレータイプを製品に加え、一般の皆様にも手軽にケア用品としてお使いいただけるよう販売促進に努めています。



写真1 480gスプレータイプ



写真2 コレトレール施工例 (左:施行前 右:施行後6ヶ月)

【電波吸収パネル(抵抗膜型・フェライト型)】

テレビの電波障害には、反射障害と遮へい障害があります。遮へい障害の主な対策としてケーブルテレビ化が推進されており、反射障害については、建築物の外壁パネルに電波吸収材を組み込み、反射波によるゴースト現象を防ぐ方法がとられています。当社では、2種類の電波吸収パネルの製造を行っています。



写真3 NTT DoCoMo名古屋ビル 写真4 電波吸収性能試験設備 (VFRC板) (三重工場)

地上200mを超えるJRセントラルタワーズ(名古屋市中村区)では酸化鉄を焼結した磁性体を用いたフェライト型が採用され、当社製品はホテル棟の外壁に使われています。また、名古屋のテレビ塔北側に建築されたNTT DoCoMo名古屋ビル(名古屋市中区)では、フェライト型に加えて抵抗膜型が採用されています。抵抗膜型は炭素繊維をメッシュ状や棒状に加工し吸収したい周波数と所定の吸収量を調整することができるものです。両型とも電波エネルギーを熱エネルギーに変換し電波を吸収するもので、当社では、所定の性能が得られるように電波吸収性能試験設備を工場内に設置し、設計、製造段階においては、電波吸収材の配列や含水率の管理、コンクリート打設後の養生方法などきめ細かな品質管理を行っています。

当社は、これまでに蓄積したノウハウに加え最新の技術を取り入れ、あらゆるコンクリート製品をとおりて快適な都市空間創りに貢献するとともに、常に先進信頼される企業として発展しつづけるため、お客様満足度の向上をめざしています。

3 会社概要

- (1) 資本金 3億円
- (2) 従業員数 266名
- (3) 本店所在地 名古屋市港区潮風町(10号地)
- (4) 工場 名古屋工場および三重工場

ホームページ
<http://www.tcon.co.jp>